

事務事業	15050	図書館おはなし会開催事業	担当課 課長	社会教育課 前田 憲一郎	担当係 担当者	町民図書館 安武 里美
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	250 子どもの健全育成を推進する		款	10	教育費
法令根拠条例等			項	5	社会教育費	
			目	6	町民図書館費	
			基本事業			
実施期間			個別計画			
□28年度のみ			☑単年度繰返		H13 年度より開始	□期間限定(複数年) 年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
幼児・児童・生徒に対して、本の読み聞かせ・ストーリーテリング・ブックトーク・パネルシアター・人形劇などにより、物語の世界を体験させ、読書の喜びを知ること、読書のきっかけづくりをする。読書習慣を身に付けることは、子どもにとって人生で最も大切なことばや生きる力を育むことになる。図書館ボランティアの協力のもと、図書館内・各公民館等で定期的におはなし会を開催している。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	主 な 事 業 費 の 内 訳	
おはなし会のプログラム作成、準備、各公民館等やボランティアとの日程等の調整、お話し会の実施、広報掲載		
講師謝礼金		25 千円
道路通行料及び駐車場使用料		4 千円
	千円	
	千円	
	千円	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・おはなしのへや ・あかちゃんおはなし会 ・ひなたぼっこおはなし会 ・にじいろポケットおはなし会 ・図書館訪問 ・公民館おはなし会 ・ブックスタートおはなし会 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) 18歳までの幼児・児童生徒とその保護者 (主に小学生以下の子ども) ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) ・読書のきっかけづくりと読書の喜びを知ってもらおう。 ・保護者へ子どもの読書に関心を持ってもらおう。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
			ア おはなし会回数	回	146	147	135 (見込)
			イ				(見込)
			ウ				(見込)
			⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値			
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア 18歳までの人口	人	9,556	9,383	9470 (見込)	
		イ				(見込)	
		ウ				(見込)	
		⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度	
		ア おはなし会参加者数	人	目標	4,400	4,400	4,400
				実績	3,558	2,848	
		イ 公民館おはなし会会場数	公民館	目標	6	7	6
				実績	7	7	
		ウ		目標			
				実績			
		エ		目標			
				実績			
		オ		目標			
				実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)	27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	国・県支出金、地方債等						
	受益者負担等						
	一般財源	27	49	29	49		
	合計(A)	27	49	29	49	0	0
	(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)	1,428	2,148	2,920	978		
トータルコスト(A)+(B)	1,455	2,197	2,949	1,027	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
志免町民図書館開館当初より図書館の重要事業の一環として開始。年々、子育てグループ・幼保育園・小中学校・他施設等からの要請が多くなっている。	おはなし会の要請が多くなったり参加者も増えてきた。図書館職員もボランティアと協働しておはなし会を行なっている。	子育て中のお母さんから、子どもたちが読み聞かせやおはなし会を楽しみにしているという感想を頂いている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	子どもが図書館や各地域の公民館等を利用する機会が増え、ボランティアを含む地域の方との関わりが増え、地域全体で子どもを育てることにつながる。 子どもの読書のきっかけづくりとなり、読書習慣を身につけ心と言葉を育てることで、健やかな子どもの育成につながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	総合計画における成果指標「子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合」「子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合」「自分の周りにあいさつや相談等ができる大人がいると答えた子どもの割合」を増やすことにつながっている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	職員とボランティア団体でおはなし会を行っている。職員数は減り、ボランティア団体の協力にも限りがある。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	行政が実施する、読書による子どもの心の健やかな育成の機会が失われる。また、子どもがボランティアを含む地域の方と関わる機会が減ってしまう。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	民間委託を導入すれば事務従事時間は削減できるが、委託料が発生するのでコスト増となってしまう。 ボランティア団体への依頼度合いを増やそうにも、ボランティアも高齢化もすすんでおり、現状でかなりの過密スケジュールのため、これ以上の依頼は難しい。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

毎週土曜日開催のおはなし会は、毎月職員と非常勤嘱託職員が担当者として企画から行っている。意識や技術を高めていこう図書館内で研修を行っているが、非常勤嘱託職員の大きな負担となっている。本年度から常勤嘱託職員がおらず非常勤嘱託職員のみのため、勤務日数の関係上顔を合わせての伝達事項が難しいこともあった。

そのおはなし会では、ボランティア団体への依存が大きく、ボランティアであるにも関わらず現状でもかなりの過密スケジュールである。ボランティア新会員を増やしていくことが急務だが、以前から広報周知等しているがなかなか増えず苦慮している。

成果指標のおはなし会参加者数が減少したのは、27年度まで加算していた「ブックスタートおはなし会」を計算に入れていないため。(28年度からは子育て支援課から図書館へ、個別事業の「ブックスタート事業」として主管課移行。)

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
---	------------------------------------